

ジャズ in 藝大 2013



MALTA Saxophone / Conductor



エリック・ミヤシロ
Trumpet

美野春樹ピアノトリオ



美野 春樹
Piano

加瀬 達
Bass



ミルトン 富田 Drums

藝大から巣立った ジャズメン Part 1



藤井 美智
Trumpet



山崎 千裕
Trumpet



山本 正治
Clarinet / 東京藝術大学教授



古賀 慎治
Trombone / 東京藝術大学准教授



藤本 隆文
Vibraphone / 東京藝術大学准教授

松下 功 司会 / 東京藝術大学教授

- グルーヴ・マーチャント *Groove Merchant* (Jerome Richardson)
- セントルイス・ブルース *Saint Louis Blues* (William Christopher Handy)
- オーパス・ワン *Opus One* (Sy Oliver)
- フィール・ソー・ゲッド *Feels So Good* (Chack Manjione)
- サム・スカンク・ファンク *Some Skunk Funk* (Randy Brecker)
- ムーンライト・セレナード *Moonlight Serenade* (Glenn Miller)
- ペンシルバニア 6-5000 *Pennsylvania 6-5000* (Glenn Miller)
- ダズックスマニア *DAZXMANIA* (MALTA)
- マンハッタン・イン・ブルー *Manhattan in Blue* (MALTA)
- フォー・ブラザーズ *Four Brothers* (Woody Herman)
- ビッグ・スイング・フェイス *Big Swing Face* (Buddy Rich)
- 日本のうた ほか



MANTO VIVO 東京藝術大学ビッグバンド

チケットぴあ TEL. 0570-02-9999 <http://t.pia.jp> (Pコード:199-045)
 (一部携帯電話・PHS・IP電話はご利用いただくことができません)
 東京文化会館チケットサービス TEL. 03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp/ticket>
 イープラス(e+) <http://eplus.jp>
 ヴォードル・チケットセンター TEL. 03-5355-1280 <http://ticket.votre.co.jp>
 藝大アートプラザ TEL. 050-5525-2102

主催：東京藝術大学演奏芸術センター・東京藝術大学音楽学部 後援：東京藝術大学音楽学部同声会 協賛：東日本遊技機商業協同組合
 お問い合わせ：東京藝術大学演奏芸術センター 050-5525-2300 東京藝術大学ホームページ <http://www.geidai.ac.jp>
 ※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。 ※未就学児の入場は、ご遠慮いただいております。

2013年7月27日(土)
 15:00開演(14:30開場)
 東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

入場料 全席指定
 S席：5,000円 / バルコニー席：4,000円

ジャズ in 藝大 2013 藝大から巣立ったジャズメン Part 1

東京音楽学校創立から数えて126年の歴史をもつ東京藝術大学からは、日本をはじめ世界の音楽界を担う逸材が何人も輩出されています。そして、ジャズ界に大きな足跡を残したミュージシャンも藝大から巣立っています。今年の「ジャズ in 藝大」は、～藝大から巣立ったジャズメン～と題し、藝大卒のジャズメンが一堂に介し、藝大ブランドのジャズを創り上げます。東京藝術大学演奏堂に響く、ゴージャスなサウンドで夏のひと時をお楽しみください。

東京藝術大学演奏藝術センター教授 松下 功

MALTA Saxophone / Conductor

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業後(阪口新氏に師事)、パークリー音楽大学(ボストンU.S.A)に留学。同校で教鞭を執る。1979年名門ライオネル・ハンブトン楽団のコンサートマスターに就任。83年帰国後、ライブコンサート演奏活動のほかTV-CFやテレビ番組など多方面に出演。全日本高等学校選抜吹奏楽大会におけるマルタ賞(1991～)設立など、プロ・アマを問わず日本の音楽発展に尽力。最新作は40枚目のアルバム「MALTA JAZZ UP!」MALTAジャズビッグバンド結成記念DVD。

美野春樹ピアノトリオ

“アーバンジャズクラシック”シリーズとして40枚以上のCDをリリース。

美野 春樹 (Piano): 東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。作曲・編曲家、ピアノとキーボードプレイヤーとして活動。数多くのCM作品、テレビドラマやアニメーションの音楽を作曲。

加瀬 達 (Bass): 沢田靖司クアルテット、リチャード・バイン&カンパニーなどに参加。桑田圭祐から鮫島有美子まで数々の歌手との共演。「BSジャズ喫茶」のレギュラーを3年間務めた。

ミルトン 富田 (Drums): ドラムをジョージ大塚、ラテンドラムをキューバでオスカリート・バルデスの各氏に師事。1972年東洋大学卒業以来、プロドラマーとしてコンサート、ライブ、レコーディングで活躍。

エリック・ミヤシロ Trumpet

プロのトランペッターの父、ダンサーで女優の母という恵まれた音楽環境の中ハワイで生まれ育つ。小学校の頃から楽器を始め、中学の時にプロとして活動。カーネギー・ホールで憧れのメイナード・ファーガソンと初共演。高校卒業後、パークリー音楽大学に奨学金で招かれ入学。22歳でパディ・リッチ、ウディ・ハーマンなどのビッグバンドにリード・トランペットとして招かれ、世界中を回る。1995年“EM Band”を結成、2010年アルバム「Skydance」をリリース。

MANTO VIVO 東京藝術大学ビッグバンド

東京藝術大学で、代々引き継がれているビッグバンド。おもに管打楽器専攻生で構成され、藝祭などで活動している。また毎年の「ジャズ in 藝大」では、今までに「森寿男&ブルーコーツオーケストラ」、「原信夫とシャープス&フラッツ」、「宮間利之とニューハード」など、日本を代表するビッグバンドと共演している。

藤井 美智 Trumpet

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業後(北村源三に師事)、パークリー音楽大学(内田奨学金全額免除奨学生)に学ぶ。ジャズライブ主催「ウィントン・マルサリス・コンテスト」でグランプリ受賞。サルサバンドでキューバ政府に招かれる。事故の後遺症で演奏を断念しかけたが、近年徐々に快復し、アルバム「Will」「What a Wonderful World」をリリース。シンガポールや韓国にも招かれる。

山崎 千裕 Trumpet

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業(杉木峯夫、福田善亮、D.ヘルツォークの各氏に師事)。在学中より室内楽、オーケストラ、レコーディングなど音楽活動を開始。山崎千裕+ROUTE14bandを結成し、CD、DVDの発売、そして世界での活動を開始。2012年札幌パークジャズライブコンテストで優勝。今年3月には全米8大都市を巡るツアーで大成功をおさめ、6月にトロント国際ジャズフェスティバルに出演。

山本 正治 Clarinet

東京藝術大学音楽学部器楽科在学中の1972年毎日音楽コンクール第1位。安宅賞を得て卒業後、デトモルト北西ドイツ音楽アカデミーに学ぶ。75～82年ライン・ドイツ・オペラ首席クラリネット奏者。76年ホルマール国際室内楽コンクール木管トリオ部門第2位。80年デュッセルドルフ市より「カンマームジカー」の称号。帰国後、武蔵野音楽大学で教鞭をとる傍ら、1990～2007年新日本フィルハーモニー交響楽団首席客演クラリネット奏者。現在、東京藝術大学音楽学部器楽科教授、日本クラリネット協会会長。

古賀 慎治 Trombone

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。トロンボーンを三好隆三、永濱幸雄、A.バンブーラ、神谷敏の各氏に師事。1985年日本管打楽器コンクール・トロンボーン部門第1位。87年プラハの春国際音楽コンクール・トロンボーン部門ファイナリスト、ディプロマ賞受賞。新日本フィルハーモニー交響楽団首席奏者、東京都交響楽団を経て、現在、東京藝術大学音楽学部准教授、日本大学芸術学部非常勤講師。

藤本 隆文 Vibraphone

東京音楽大学音楽学部器楽科卒業。1987年日本管打楽器コンクール打楽器部門第2位、92年ジュネーブ国際音楽コンクール打楽器部門第2位。神奈川フィルハーモニー管弦楽団のティンパニー奏者を経て、現在、東京藝術大学音楽学部器楽科准教授、東京音楽大学非常勤講師、打楽器四重奏団「Shun-Ka-Shu-Toh」代表。猪俣猛&セパレーションなどに参加。ジャズ・ヴィブラフォン奏者としての領域も広げつつある。

東京藝術大学演奏堂 [大学構内]

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

交通案内

- JR 上野駅(公園口)・鶯谷駅(南口)、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
- 京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅・銀座線上野駅より徒歩15分
- 台東区循環バス「東西めぐりん」
- ② 上野駅・上野公園から(東京芸術大学経由)
↓
- ⑤-1 東京芸術大学 下車 [30分間隔]

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。
※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。
※未就学児の入場は、ご遠慮いただいております。

